

宇治市観光基本計画 総括

平成24年5月
宇治市

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 『基本目標』の取組状況 | 1 |
| (1) 京都・奈良来訪者の宇治市への誘致 | |
| (2) 周遊・生活・体験による滞留の長時間化 | |
| (3) 多様なメディアを通じた宇治市のイメージ形成 | |
| (4) 再来訪を促せる魅力・もてなし・居心地 | |
| (5) 観光客誘致の目標 | |
| 2. 『基本方針』の取組状況 | 3 |
| (1) メディアの活用と展開 | |
| (2) パッケージ化と周遊促進 | |
| (3) 観光都市の基盤整備 | |
| (4) 観光タイアップの強化 | |
| 3. これまでの主な取り組み | 11 |

1. 『基本目標』の取組状況

| 基本目標 | |
|---------------------------|---|
| (1) 京都・奈良来訪者の宇治市への誘致 | <p>京都・奈良の間に位置する立地を最大限に活かし、京都・奈良を經由する全国・世界からの観光来訪者に呼びかけて、宇治市への来訪を促すとともに、その期待に応える豊かな体験を提供します。</p> <p>特に宇治市の歴史・文化・風景の魅力をも十分に伝え、来訪への積極的な動機を創り出すことを目指します。</p> |
| (2) 周遊・生活・体験による滞留の長時間化 | <p>宇治市を訪れる人々が、ゆったりと豊かな時間をこの地で過ごし、かけがえのない体験を記憶に刻むことができるよう、周遊の楽しみ、生活の親しみ、体験の喜びを提供します。</p> <p>特に、中宇治地域を中心とする周遊観光の次の展開として、宇治～黄檗における周遊・回遊型の観光の普及・促進に重点を置きます。</p> |
| (3) 多様なメディアを通じた宇治市のイメージ形成 | <p>より多くの来訪者を迎え入れるために、世界へ、全国へ、近畿圏で、京阪神で、そして市民の皆さんに向けて、多様なメディアを駆使して宇治市の魅力を伝え、来訪と周遊への動機を喚起するイメージの形成・定着のための情報を提供します。</p> <p>特に、インターネットや出版物など、継続性があり、宇治市にターゲットを絞ったきめ細かな情報提供が可能なメディアの効果的な活用を進めます。</p> |
| (4) 再来訪を促せる魅力・もてなし・居心地 | <p>ここを訪れてくださる皆様が、「宇治は本当に良いところだ」と心から感じ、「また再び宇治へ来て、豊かな時を過ごしたい」と心から願っていただけるよう、宇治市の魅力を余すことなく披露し、真心を尽くした「もてなし」を通じた、本当に居心地の良い旅を提供します。</p> <p>特に、観光関連事業者、施設における接客マナーの向上や、市民と観光客の親密な交流の場づくりなどを進めます。</p> |
| (5) 観光客誘致の目標 | <p>現在、年間約400万人の観光客を、今後10年間で、約500万人とすることを目標とします。</p> |

| 取組状況 |
|--|
| (1) 京都・奈良来訪者の宇治市への誘致 |
| <p>インターネットを通じて国内及び世界に宇治の魅力の発信を行ってきた。また、JR京都駅に設置された観光案内所「京なび」へ宇治の観光パンフレット等を配置するなど、京都からの誘客に努めている。源氏物語千年紀には京都府や京都市と、平城遷都1300年祭では奈良市と連携したイベント等の開催を行った。歴史・文化・景観の面では、宇治橋上流部が国の重要文化的景観に選定されたほか、宇治川太閤堤跡の史跡指定など、宇治市の魅力を伝える新たな観光資源の開発が行われた。</p> |
| (2) 周遊・生活・体験による滞留の長時間化 |
| <p>豊かな自然景観や歴史的資産を歩いて巡っていただけるよう、目的に応じた観光ルートの紹介に努めた。また、季節のイベントとなっている宇治川さくらまつりや宇治川花火大会、宇治十帖スタンプラリーなどの体験型イベントを継続実施するほか、宇治灯り絵巻などの新しい取り組みを行った。宇治川太閤堤跡周辺の利活用を含む歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けたことから、この新たな観光資源の活用により滞留時間が長時間化されるよう検討する必要がある。</p> <p>宇治～黄檗間の周遊についても、モデルルート等の提案や都市基盤整備に合わせた「こまかげの道」整備を一部行った。</p> |
| (3) 多様なメディアを通じた宇治市のイメージ形成 |
| <p>鉄道駅や高速道路サービスエリアでの観光キャンペーンやHPを通じた情報提供を行うほか、昨今は女性鶏匠がマスメディア等にも多数取り上げられた。また、スマートフォンを活用した観光情報やバリアフリー情報の提供も開始された。</p> <p>さらに「京都駅から快速で約17分/宇治」のバナーを観光施設や観光事業者等のHPにも掲載し、京都駅からの利便性のアピールを行っている。</p> |
| (4) 再来訪を促せる魅力・もてなし・居心地 |
| <p>JR宇治駅前に観光案内所を整備したほか「おみやげプラザ宿木」や夢浮橋ひろばにバリアフリートイレ等の観光基盤の整備に努めた。また、観光ボランティアガイドによる観光客のニーズにあったガイドプランの提案や身体等の不自由な方へのバリアフリー観光に向けた「宇治観光福祉マップ」の作成を行い、あらゆる人に居心地の良い旅の提供に努め、「第17回優秀観光地づくり賞 金賞国土交通大臣賞」に選ばれた。</p> |
| (5) 観光客誘致の目標 |
| <p>平成20年の源氏物語千年紀の年に556万人、平成21年に501万人、平成22年には511万人と500万人台を割り込んでいない。しかし、平成23年は東日本大震災及びこれに伴う原発問題、また円高の影響により訪日外国人客が減少し、486万人と500万人台を割り込む結果となった。</p> |

2. 『基本方針』の取組状況

| 基本方針 | |
|--|--|
| (1)メディアの活用と展開 | |
| <p>観光対象としての「宇治市」の認知度はまだ十分に高められているとは言えない。多様化し多層化するメディアを効果的に活用し、ニーズに対応し、ニーズを喚起する情報の発信・提供・収集を進める。</p> | |
| 世界遺産を通じたグローバルな情報発信 | |
| <p>世界遺産を受け継ぐ都市としての宇治市の姿勢・決意・思いを、世界の人々に発信するメディアとして、インターネットを最大限に活用する。</p> | |
| 宇治市の魅力を的確に伝達する情報源の制作・提供 | |
| <p>国内に対しても、宇治市の魅力を、優れたデザインと簡潔・明瞭なメッセージとともに伝える「観光プロモーションメディア」としてインターネットの効果的な活用を進めるとともに、より広く、深く、きめ細やかな情報を提供するメディアの活用・制作を進める。</p> | |
| 観光に関する基本的情報を提供する場の充実 | |
| <p>本市の観光に関するインターネットサイトは、多様な主体によって運営される多数のサイトが適切に役割を分担し、相互に連携して、階層的に情報を深めていくよう、連携と協調を進める。</p> | |
| 京都メディアを活用する京都来訪者の誘致 | |
| <p>本市の観光認知度・吸引力が十分でない現状から、宇治市への中継点となる「京都市」への来訪者に対するアピールを重視し、新聞・テレビ・ラジオや宿泊施設・観光情報施設での情報提供(ポスター、パンフレットなど)を通じて、京都来訪者の宇治市への誘致に努める。</p> | |
| 地域メディアを活用する域内周遊支援の提供 | |
| <p>本市に来訪していただいた観光客に対して、適切・有用な観光周遊情報を提供するために、地元メディア(新聞・地域ラジオなど)の協力のもとに、きめ細やかな情報提供手段を研究する。</p> | |

| 取組状況 |
|--|
| (1)メディアの活用と展開 |
| <p>インターネットやパンフレット等を通じた情報発信に努めた。しかし、観光動向調査の実施状況においても、平等院には訪れていても、宇治市には訪れたことがないとの認識を持たれている方が多く、「宇治市」の認知度が高まっているとは言えない。</p> |
| 世界遺産を通じたグローバルな情報発信 |
| <p>宇治の観光を紹介するHP「宇治探訪」を開設しており、英語、韓国語、中国語(簡体、繁体)、フランス語により宇治の魅力の発信に努めた。</p> |
| 宇治市の魅力を的確に伝達する情報源の制作・提供 |
| <p>宇治の観光を紹介するHP「宇治探訪」を設置し、宇治の魅力の発信に努め、サイト内に観光写真配信システムの整備などを行った。観光パンフレットやイラストマップ等を通じて、よりきめ細かい観光情報の提供に努めている。</p> |
| 観光に関する基本的情報を提供する場の充実 |
| <p>宇治市観光協会や宇治商工会議所とも連携を図り、HP等の掲載情報の共有に努めた。また、宇治へ来訪されてからの情報提供手段としてこれまでからの紙媒体の情報に加えスマートフォンを活用した観光情報やバリアフリー情報の提供についても取り組んだ。</p> |
| 京都メディアを活用する京都来訪者の誘致 |
| <p>JR京都駅に設置された観光案内所「京なび」に観光パンフレット等を配布するとともに、京都府観光連盟とも連携を図り、京都市内のコンシェルジュ等に対して観光情報の提供を行った。宇治川さくらまつりや宇治川花火大会等のイベント時には、JRや京阪の主要駅構内でのポスター掲示等を通じた広報を行い、京都来訪客や関西一円からの宇治市への誘客に努めた。</p> |
| 地域メディアを活用する域内周遊支援の提供 |
| <p>JR宇治駅前に観光案内所を設置し、観光情報の提供に努めた。また、スマートフォンを活用した観光情報やバリアフリー情報の提供も開始するほか、地元ラジオ「FMうじ」の協力のもと、観光イベント情報のきめ細やかな提供に努めた。</p> |

基本方針

(2)パッケージ化と周遊促進

単独の観光としては、隣接する京都市の1割の集客力に止まっている宇治市の現状と潜在的集客力を見据えて、広域的な回遊、オプション、および域内周遊の促進などに資する「パッケージ」の開発・提供を検討する。

京都・宇治のパッケージ強化

京阪神都市圏・近畿近隣圏以外からの観光客にとって、ほとんどの場合に中継地となる「京都市」とそこでの観光諸事業との連携を一層密にする。そのために、京都市の行政・観光関連団体、宿泊施設などとの相互協力関係を深め、京都来訪者が宇治にも足を伸ばす機会を広げる「周遊パッケージ」「オプション・ツアー」などの企画を検討する。

宇治市内における周遊パッケージの充実

宇治市へ来訪していただいた観光客の、宇治市における滞在時間を延長するとともに、より充実した時間を宇治で体験していただくために、主要な観光拠点の周遊(メインコース)と目的・興味に合わせたオプション(サブコース)を組み合わせた市内周遊パッケージの提供を検討する。

特に、宇治～黄檗における周遊型の観光の普及・定着を進めるために、周遊コースの整備と紹介、周遊ツアーの企画・展開や一体的なイベントなどの展開を検討する。

来訪手段別の交通支援サービスパッケージ

鉄道・自家用自動車および観光バスという、宇治市への観光来訪の主要な3つの手段にそれぞれ対応する域内交通支援のためのパッケージの提供について検討する。

鉄道利用者に対しては、徒歩・自転車などによる周遊手段の提供、自家用自動車利用者に対しては駐車場の提供と駐車場を起点とする周遊支援、観光バスに対しては大型バス駐車場・乗降場所の確保とそこを起点とする徒歩を中心とする拠点回遊の支援などを検討する。

来訪目的別の情報パッケージの提供

世界遺産を中心とする「歴史・文化」をはじめ「宇治茶」「自然景観」「祭事・イベント」など、宇治市への観光目的に応じて、より充実した「周遊」「体験」の案内となる情報パッケージの提供を進める。

特に、宇治～黄檗における周遊観光の促進のために、宇治黄檗間の観光情報の充実と、宇治・黄檗を一体とする情報提供の強化を検討する。

広域的な回遊パッケージの企画と利用促進

京都市地下鉄東西線の六地蔵までの延伸により、宇治市域と京都市内との連携はこれまで以上に緊密になることから、特に六地蔵駅(地下鉄・JR・京阪)を起点または中継点とする「京都市南部(伏見・醍醐)・東部(山科)～木幡～黄檗～宇治」の広域的な回遊の促進をめざして、京都市や交通事業者などとの連携による回遊パッケージの開発・提供について検討する。

| 取組状況 |
|--|
| (2)パッケージ化と周遊促進 |
| <p>京都市への観光客数が約5,000万人に対して、宇治市は約500万人と、京都市の1割の集客となっている。京都市との連携としては伏見・宇治広域連携協議会を通じた連携を進めた。広域的な連携については、山城地域の行政及び観光関係団体が連携を図り、広域的な観光施策を推進したほか、JR奈良線沿線市町による連携、八幡市や京田辺市との連携なども行った。また、歴史街道事業を通じて府県を越えた広域観光の促進にも取り組んだ。</p> |
| 京都・宇治のパッケージ強化 |
| <p>京都府及び京都府観光連盟との連携はできているものの、京都市との連携については、伏見・宇治広域連携協議会を通じた連携以外はできていない。世界的なブランド力のある京都市の観光行政との連携を積極的に進めていく必要がある。</p> |
| 宇治市内における周遊パッケージの充実 |
| <p>宇治観光における周遊パッケージ、モデルルート等については、HP、パンフレット等を通じて提案している。宇治～黄檗間の周遊については、モデルルート等の提案や都市基盤整備に合わせた「こまかげの道」整備を一部行った。</p> |
| 来訪手段別の交通支援サービスパッケージ |
| <p>来訪手段によらず、宇治の観光は歩いて巡る観光を基本としており、宇治観光における周遊パッケージ、モデルルート等について、HP、パンフレット等を通じて提案した。</p> |
| 来訪目的別の情報パッケージの提供 |
| <p>宇治観光における周遊パッケージ、モデルルート等については、宇治～黄檗間も含めてHP、パンフレット等を通じて提案している。また、観光ボランティアガイドにおいても、観光客の目的に応じたきめ細かな観光案内を行った。</p> |
| 広域的な回遊パッケージの企画と利用促進 |
| <p>京都市地下鉄東西線の六地蔵延伸により、醍醐、山科等との連携の必要性が高まると期待したがそのようなニーズはあまりなかった。伏見については、伏見・宇治広域連携協議会を通じてクーポンマップの発行やイベント時の出店などの形で連携を進めた。</p> |

基本方針

(3) 観光都市の基盤整備

宇治市の観光環境において、最大の課題のひとつである道路交通環境の改善を含めて、より円滑なアクセスと域内周遊を実現するための交通インフラの整備が必要。
本市では特に、域内での回遊、観光消費の促進および利便・快適性の向上のための機能・デザイン・ネットワークおよびシステムの整備を検討する。

情報提供ステーションと適切なルート案内

観光来訪者に対して、その周遊手段・来訪目的などに適した、きめ細やかな周遊支援情報を提供することにより、効果的で充実した周遊観光を体験していただくために、鉄道駅・拠点駐車場・主要観光拠点などに「情報提供ステーション」を設置するとともに、主要ステーションにおいてはニーズに対応する周遊案内を提供できるシステムと人材の配置を支援する。

レンタサイクルによる自転車観光の促進

周遊観光の利便性を高めるために、レンタサイクルの観光利用の促進を検討する。
特に、宇治～黄檗の自転車による周遊を促すために、この地域でのレンタサイクルサービスの充実と利用促進を進める。

観光ピーク時に対応する鉄道輸送力の拡充促進

鉄道事業者の協力のもと、祭事・イベントや観光繁忙期における鉄道輸送力の増強について、その可能性を検討する。

来訪者のための便宜施設の充実

主要観光拠点周辺や周遊ルートの途上における「トイレ」をはじめとする便益施設の整備を、都市公園整備や商業振興施策などとの連携のもとに検討する。
また、通信事業者やコンテンツ事業者とのパートナーシップに基づく携帯端末を利用する即地的な観光情報の提供サービスの可能性を研究し、導入を検討する。

「宇治茶」を象徴し紹介する場の整備

市街地・主要観光拠点・平野部一帯で失われつつある「宇治茶のまち」のイメージを回復し、宇治市の重要な伝統文化である「宇治茶」を観光資源として再生させる拠点として、「宇治茶」の歴史・伝統・文化・産業・味覚・効用などを総合的に紹介・体験できる拠点の整備を検討する。

| 取組状況 |
|--|
| (3) 観光都市の基盤整備 |
| <p>中宇治地域の道路整備事業が進められ、一定の歩行空間等は確保されてきた。また、円滑なアクセスや域内周遊に向けては宇治駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づき、歩道の改良等を行い歩行者の移動の円滑化を進めた。</p> <p>観光の利便性・快適性の面からは、観光案内サインに関する基本方針を定め、ユニバーサルデザインによる観光案内板の設置を行ったほか、スマートフォンを活用した観光情報やバリアフリー情報の提供などの提供を開始した。</p> |
| 情報提供ステーションと適切なルート案内 |
| <p>JR宇治駅前「ゆめりあ宇治」に観光案内所及び「おみやげプラザ宿木」を設置するとともに観光ボランティアガイドの詰所を併設した。京阪宇治駅周辺への観光案内所の設置については、引き続き課題となっているが、宇治川太閤堤跡周辺における施設整備に際して、観光案内所が設置できるよう検討している。</p> |
| レンタサイクルによる自転車観光の促進 |
| <p>周遊観光のためのレンタサイクルについては、観光シーズン時における歩行者の安全面への考慮、利用促進のための推奨ルートマップの作成、観光施設等における駐輪場確保など、環境整備に向けた課題の整理・検討を行っている。</p> <p>一方で、一部民間事業者においてレンタサイクル事業が行われている。</p> |
| 観光ピーク時に対応する鉄道輸送力の拡充促進 |
| <p>宇治川花火大会においては、JR西日本、京阪電気鉄道とも臨時運行により輸送力を強化されており、観客の安全で円滑な移動が実現された。</p> |
| 来訪者のための便宜施設の充実 |
| <p>宇治市観光センターのトイレのバリアフリー化や夢浮橋ひろばにバリアフリートイレを整備したほか、JR宇治駅前「ゆめりあ宇治」に観光案内所及び「おみやげプラザ宿木」を設置するとともに観光ボランティアガイドの詰所を併設した。また、スマートフォンを活用した観光情報やバリアフリー情報の提供を開始した。</p> |
| 「宇治茶」を象徴し紹介する場の整備 |
| <p>宇治市観光センター及びJR宇治駅前観光案内所において「宇治茶」の無料接待を行っており好評を得ている。また、市営茶室「対鳳庵」については「ミシュラン・グリーンガイド・ジャパン」に掲載されるなど外国メディアからも高い評価を得ており「宇治茶」を象徴する観光施設となっている。また、京都文教大学においては、地域連携学生プロジェクトとして「宇治茶」をテーマにさまざまな機関と連携し、イベント実施をした。さらに、宇治川太閤堤跡が発見され、隣接する茶畑を保存するとともに、今後の施設整備においては、宇治茶にまつわる歴史や生産過程などの展示等も検討している。</p> |

| 基本方針 | |
|--------------------------------|--|
| 拠点駐車場 | <p>来訪の快適性を確保し、観光拠点周辺の渋滞・違法駐車を抑制するために、観光拠点の周遊にふさわしい場所での拠点的な駐車場の整備について、関係団体と協議・検討する。</p> |
| バリアフリーとユニバーサルデザイン | <p>高齢者、障害者、子どもにも安全で使いやすく、外国からの来訪者にも分かりやすい観光環境をつくることを重視し、道路(歩道)・橋梁・河川(親水護岸など)・公園・広場などの公共空間における「段差」の解消と点字・音声案内、外国語表示などの整備に努める。 また、情報案内施設や衛生施設、展示施設、商店・飲食店などにおいて、全ての人に分かりやすく、使いやすい「ユニバーサルデザイン」の導入・普及に努める。</p> |
| (4) 観光タイアップの強化 | |
| | <p>宇治市の観光は、京都市の巨大な観光吸引力に大きく依存するとともに、鉄道事業者や観光関連事業者の事業展開とも密接・不可分な関係にあることを重視し、これらの多様な主体との対話・連携・協調を基本とする「タイアップ」の強化と多様化に努める。</p> |
| 京都市の観光関連施設と連携する宇治来訪促進 | <p>JR京都駅から快速電車で14分という「近さ」を強力にアピールし、京都市(特に京都駅周辺およびJR・京阪・近鉄・地下鉄沿線)からの京都市と一体となった周遊エリアとしての認知と活用を促すために、京都市内の宿泊施設・観光団体・観光案内所、バス・タクシーなどの交通事業者、その他観光関連事業者との連携を深め、京都を起点とする宇治への日帰り・一泊などのオプションツアーなどの展開に努める。</p> |
| 交通・旅行事業者と連携する全国的な来訪誘致 | <p>JRグループや航空各社、旅行会社など、全国規模での観光キャンペーンを展開する事業者との連携を深め、「もうひとつの古都」としての「宇治市」のイメージ形成と来訪者誘致に努める。</p> |
| 地域交通事業者と連携するツアー、イベント企画 | <p>JR西日本、京阪電車、近畿日本鉄道やバス事業者など、宇治市に乗り入れる交通事業者との連携・協力関係をさらに深め、各社が企画する沿線案内、利用促進キャンペーン、ウォークイベントなどでの宇治市の観光資源・環境の活用を促す。</p> |
| 京都・奈良・大津など観光イベントと連動するキャンペーンの展開 | <p>京都三大祭りや奈良の社寺での祭事、その他、京都および奈良での観光イベントによる来訪者集中を利用して、宇治市への観光来訪を積極的に促すよう、これらの祭事・イベントに連動した来訪促進キャンペーンなどを検討する。 また、隣接する大津などとのイベントの共同開催の可能性や連携のための方策などを検討する。</p> |

| |
|---|
| 取組状況 |
| 拠点駐車場 |
| 観光拠点の周遊にふさわしい場所での拠点駐車場整備については、民間事業者による店舗跡地等を利用したコインパーキング等の設置は行われているが、関係団体との駐車場整備についての具体的な検討は、用地の確保や閑散期と繁忙期の差による利用状況の変動が大きい等、困難な課題が山積しており進んでいない。観光シーズンの観光拠点周辺の渋滞対策の一つとして宇治市観光協会では臨時駐車場を設置する取組を行ってきた。 |
| バリアフリーとユニバーサルデザイン |
| 観光案内サインに関する基本方針を定め、ユニバーサルデザインによる観光案内版の設置を行ったほか、宇治市観光センター等のトイレのバリアフリー化などの整備を行った。また、観光ボランティアガイドが身体等の不自由な方のバリアフリー観光に役立つ「宇治観光福祉マップ」を作成し、これらのバリアフリー情報についてはスマートフォンを活用した情報の提供も行った。外国人向けには、日本語、英語、中国語、韓国語対応の道標や音声付観光案内版の整備を行った。 |
| (4)観光タイアップの強化 |
| 源氏物語千年紀や平城遷都1300年祭などにおいて京都や奈良との連携を図るとともに、鉄道事業者とも広報やイベント開催等での連携を図った。 |
| 京都市の観光関連施設と連携する宇治来訪促進 |
| 「京都駅から快速で約17分/宇治」のバナーを観光施設や観光事業者等のホームページにも掲載し、京都駅からの利便性のアピールを行っている。JR京都駅に設置された観光案内所「京なび」に観光パンフレット等を配布するとともに、京都府観光連盟とも連携を図り、京都市内のコンシェルジュ等に対して観光情報の提供を行った。 |
| 交通・旅行事業者と連携する全国的な来訪誘致 |
| 宇治市観光協会等を通じて全国の旅行社等との連携を図り、来訪者誘致に努めているほか、国内だけでなく、インバウンド対策として台湾においてもプレゼンテーションを行っている。また京都府観光連盟とも連携を図り、本市からも東京で行われた商談会へ参加し、プレゼンテーションを行った。 |
| 地域交通事業者と連携するツアー、イベント企画 |
| JRや京阪との連携により、宇治の観光施設等をルートとしたハイキングやウォークイベント等の催しが開催された。 |
| 京都・奈良・大津など観光イベントと連動するキャンペーンの展開 |
| 源氏物語千年紀には京都府や京都市と、平城遷都1300年祭では奈良市と連携したイベント等の開催を行った。大津市とは花火大会等に関する情報交換を行っている。 |

3.これまでの主な取り組み

平成12年度

京阪電車「中書島駅」が特急停車駅となり、大阪からのアクセスが向上
JR宇治駅橋上化・JR小倉駅が完成

平成13年度

観光案内道標(日本語、英語、中国語、ハングル語表記)を4基設置
音声装置付観光案内板を4基設置
宇治市観光センター(1階)トイレをバリアフリー化
宇治市観光基本計画・宇治黄檗間観光振興計画を策定

平成14年度

観光ホームページ「宇治探訪」(日本語版)を開設
観光写真配信システム事業を開始
源氏物語宇治十帖パンフレット(英語・中国語・ハングル語版)を作成
観光案内道標(日本語、英語、中国語、ハングル語表記)を3基設置
観光PR用カード型CD-ROMを作成

平成15年度

京滋パイパスが延伸され大山崎JCTで名神高速道路と接続
JR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあうじ)が開館し、施設内に観光案内所及び「おみやげプラザ宿木」を開設
陶芸、抹茶工場見学を掲載した宇治体験マップを作成
高速道路サービスエリアでの観光キャンペーンを実施
観光案内道標(日本語、英語、中国語、ハングル語表記)を2基設置
夢浮橋ひろばにバリアフリースイートイレを設置

平成16年度

黄檗山手線が開通
京都市営地下鉄東西線 六地藏～醍醐間が開通
新一万円札発行記念事業として、観光PR用カード型CD-ROMを作成

平成17年度

観光ホームページ「宇治探訪」(英語、中国語、ハングル語版)を開設
伏見・宇治広域観光連携協議会設立

平成18年度

「こまかげの道」整備事業を開始
春・秋臨時駐車場を開設
JR奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会設立
京都宇治灯り絵巻事業を開始

平成19年度

宇治川太閤堤跡を発見
阪神高速8号京都線(上鳥羽～巨椋池)が開通し、京都からのアクセスが向上
新名神高速道路(草津JCT～豊田JCT)が開通し、名古屋からのアクセスが向上

平成20年度

源氏物語ミュージアムがリニューアルオープン
宇治橋上流地域を重要文化的景観として国が選定
源氏物語千年紀委員会との連携事業を実施
ユニバーサルデザイン観光案内板を27基設置

平成21年度

宇治川太閤堤跡を国が史跡に指定
第2京阪道路が全線開通し、関西国際空港からのアクセスが向上
観光ホームページ「宇治探訪」(フランス語版)を開設

平成23年度

宇治槇島線が全面開通
「宇治市歴史的風致維持向上計画」を国が認定